



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月29日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社
 コード番号 9962 URL <https://www.misumi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 男澤 一郎

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 平成31年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	249,719	8.1	22,694	16.5	22,660	15.7	16,216	19.3
30年3月期第3四半期	231,058	23.4	27,171	31.1	26,886	32.1	20,104	55.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 15,493百万円 (36.3%) 30年3月期第3四半期 24,314百万円 (122.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	57.23	57.02
30年3月期第3四半期	71.62	70.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	241,714	196,734	80.6
30年3月期	243,492	186,719	76.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 194,807百万円 30年3月期 185,203百万円

平成31年3月期第1四半期より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)の適用による表示方法の変更を行いましたため、平成30年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		11.52		11.08	22.60
31年3月期		10.21			
31年3月期(予想)				10.52	20.73

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	335,200	7.1	32,800	5.9	32,800	5.4	23,500	8.2	82.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	283,575,697 株	30年3月期	283,439,597 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	129,626 株	30年3月期	129,536 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	283,383,366 株	30年3月期3Q	280,694,594 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済および日本経済は、貿易摩擦継続への懸念が強まったことから製造業の設備投資に一層の慎重さが見られるなど、景気は減速傾向にあります。中国、アジアおよびアメリカにおいても貿易摩擦の影響などにより輸出入関連が悪化し、また、欧州では自動車関連の不振などにより、製造業の景況は各地域とも減速が見られます。また、日本においても海外需要や設備投資の鈍化を受けて景況は弱含みとなり、生産用機械、自動車関連分野で不透明感が増えています。

こうした環境においても当社グループの戦略は変わることなく、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献しています。今期においてもITを核とした新たなものづくりに応えるため、各国の現地ニーズに即時対応できる地域別ECサイト構築を加速するなど、競争力を強化しました。また、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進するとともに、国内外で物流拠点を拡張するなど、景況が減速する中で一部の投資には慎重になりつつも、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。

こうしたビジネスモデルの進化により顧客に対して高い利便性を提供すると共に、VONA事業の国際展開加速による売上成長もけん引し、対前年を上回る連結売上高を確保しました。

こうした結果、連結売上高は2,497億1千9百万円（前年同期比8.1%増）となり、第3四半期決算としては、過去最高の売上高を更新しました。利益面につきましては、成長加速に向けた投資などにより、営業利益は226億9千4百万円（前年同期比16.5%減）、経常利益は226億6千万円（前年同期比15.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は162億1千6百万円（前年同期比19.3%減）となり、第3四半期決算として過去最高額であった前年同期に比べ減益となりました。

・報告セグメントの業績

①FA事業

FA事業は、FA部品の確実短納期ニーズがグローバルに拡大する中、ミスミモデルを着実に浸透させ、自動車やエレクトロニクス関連業界などの自動化需要を取り込んだことなどにより、売上高は823億1千9百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益については、事業基盤強化に向けた費用増などにより、138億円（前年同期比10.2%減）となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、アジアにおける販売活動は好調だったものの、日米の自動車関連業界の需要減などにより、売上高は577億5千8百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益については、のれん等の償却費用減少などにより、47億6百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品、製造副資材、MRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。事業成長を支える品揃え拡大は今期も継続し、当第3四半期時点でグローバルでの取扱品目数は2,600万点に達しました。こうした取り組みや積極的な販売拡大施策の展開により、売上高は1,096億4千2百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益については、国内および海外事業の拡大に向けた先行費用増などにより、45億7千7百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ17億7千7百万円減少し、2,417億1千4百万円となりました。この主な要因は現金及び預金が154億5百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が28億3千1百万円減少したこと、商品及び製品が61億4千7百万円増加したことなどにより流動資産が100億6千万円減少となりました。また、有形固定資産が63億6千2百万円増加したこと、無形固定資産が18億9百万円増加したこと、投資有価証券等の投資その他の資産が1億1千1百万円増加したことでもあります。

総負債は前連結会計年度末に比べ117億9千2百万円減少し、449億7千9百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が20億1千4百万円減少したこと、未払金が46億8百万円減少したこと、未払法人税等が19億8百万円減少したこと、賞与引当金が15億4千9百万円減少したこと、その他流動負債が18億9千5百万円減少したことなどにより流動負債が122億7千2百万円減少し、また、固定負債が4億7千9百万円増加したことでもあります。

純資産は前連結会計年度末に比べ100億1千4百万円増加し、1,967億3千4百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が101億8千4百万円増加したことなどにより株主資本が103億3千2百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が7億2千7百万円減少したことでもあります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.1%から80.6%となりました。

なお、当連結会計年度より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）の適用による表示方法の変更を行いましたため、遡及修正後の数値で前年同期比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ127億5千3百万円減少し、389億5千9百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、68億7千8百万円の純収入となりました（前年同期は172億4千2百万円の純収入）。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が226億6千万円、減価償却費が64億5千2百万円、賞与引当金の減少額が15億5千4百万円、売上債権の増加額が7億1千3百万円、たな卸資産の増加額が72億3千4百万円、仕入債務の減少額が12億4千万円、未払金の減少額が36億5百万円、法人税等の支払額が80億2千4百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、131億9千4百万円の純支出となりました（前年同期は32億5千3百万円の純支出）。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が152億2千2百万円、定期預金の預入による支出が271億2千3百万円、定期預金の払戻による収入が297億3千3百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、59億9千9百万円の純支出となりました（前年同期は57億4千9百万円の純支出）。この主な内訳は、配当金の支払額が60億3千2百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の結果及び業績動向を受けて、平成30年10月29日公表の前回予想時点から、平成31年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

[平成31年3月期 通期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
今回修正予想	335,200	32,800	32,800	23,500	82.92
前回発表予想	343,000	35,000	35,200	25,700	90.69

配当予想につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,502	50,097
受取手形及び売掛金	67,817	64,985
商品及び製品	33,208	39,355
仕掛品	1,771	2,695
原材料及び貯蔵品	6,301	6,382
その他	5,622	6,565
貸倒引当金	△319	△237
流動資産合計	179,904	169,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,649	10,407
機械装置及び運搬具（純額）	12,053	13,313
土地	3,728	3,739
その他（純額）	4,282	8,615
有形固定資産合計	29,714	36,076
無形固定資産		
ソフトウェア	17,057	18,742
その他	7,529	7,654
無形固定資産合計	24,587	26,396
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
その他	9,467	9,592
貸倒引当金	△187	△201
投資その他の資産合計	9,285	9,397
固定資産合計	63,587	71,870
資産合計	243,492	241,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,524	17,510
1年内償還予定の新株予約権付社債	106	—
未払金	14,001	9,393
未払法人税等	4,494	2,586
賞与引当金	3,525	1,976
役員賞与引当金	261	71
その他	7,770	5,874
流動負債合計	49,684	37,412
固定負債		
退職給付に係る負債	4,878	5,337
その他	2,209	2,229
固定負債合計	7,087	7,567
負債合計	56,772	44,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,812	12,903
資本剰余金	23,201	23,258
利益剰余金	148,059	158,243
自己株式	△77	△78
株主資本合計	183,994	194,327
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,291	552
退職給付に係る調整累計額	△83	△71
その他の包括利益累計額合計	1,208	480
新株予約権	986	1,390
非支配株主持分	529	536
純資産合計	186,719	196,734
負債純資産合計	243,492	241,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	231,058	249,719
売上原価	132,191	144,009
売上総利益	98,867	105,709
販売費及び一般管理費	71,695	83,015
営業利益	27,171	22,694
営業外収益		
受取利息	154	181
保険返戻金	—	144
補助金収入	38	—
雑収入	230	290
営業外収益合計	423	616
営業外費用		
売上割引	62	67
為替差損	556	460
雑損失	89	122
営業外費用合計	708	650
経常利益	26,886	22,660
税金等調整前四半期純利益	26,886	22,660
法人税等	6,721	6,391
四半期純利益	20,164	16,269
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,104	16,216

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	20,164	16,269
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,134	△777
退職給付に係る調整額	9	11
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△10
その他の包括利益合計	4,150	△775
四半期包括利益	24,314	15,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,229	15,488
非支配株主に係る四半期包括利益	84	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,886	22,660
減価償却費	5,300	6,452
のれん償却額	1,009	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	329	477
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,398	△1,554
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△189
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△64
受取利息及び受取配当金	△167	△187
支払利息	1	1
株式報酬費用	391	463
為替差損益 (△は益)	△363	96
持分法による投資損益 (△は益)	△42	△41
保険戻戻金	—	△144
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,928	△713
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,293	△7,234
未収消費税等の増減額 (△は増加)	582	15
仕入債務の増減額 (△は減少)	△183	△1,240
未払金の増減額 (△は減少)	△596	△3,605
その他の資産の増減額 (△は増加)	△958	△1,052
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,574	144
小計	24,927	14,284
利息及び配当金の受取額	201	284
利息の支払額	△1	△1
保険金の受取額	—	144
法人税等の還付額	96	191
法人税等の支払額	△7,980	△8,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,242	6,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△8,902	△15,222
固定資産の売却による収入	3	43
定期預金の預入による支出	△17,640	△27,123
定期預金の払戻による収入	24,397	29,733
敷金及び保証金の差入による支出	△449	△1,022
敷金及び保証金の回収による収入	224	335
その他	△886	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,253	△13,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	20	33
配当金の支払額	△5,768	△6,032
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,749	△5,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,087	△438
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,327	△12,753
現金及び現金同等物の期首残高	47,840	51,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,168	38,959

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

重要な非資金取引の内容

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
新株予約権付社債の転換による 資本金増加額	5,084百万円	56百万円
新株予約権付社債の転換による 資本剰余金増加額	5,084百万円	56百万円
新株予約権付社債の転換による 新株予約権付社債減少額	10,169百万円	112百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	77,789	57,758	95,509	231,058	—	231,058
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	77,789	57,758	95,509	231,058	—	231,058
セグメント利益	15,364	4,238	8,082	27,685	△513	27,171

のれん等償却前セグメント利益※	15,364	5,714	8,082	29,160	△513	28,647
-----------------	--------	-------	-------	--------	------	--------

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	27,685
調整額	△513
四半期連結損益計算書の営業利益	27,171

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	82,319	57,758	109,642	249,719	—	249,719
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	82,319	57,758	109,642	249,719	—	249,719
セグメント利益	13,800	4,706	4,577	23,083	△389	22,694

のれん等償却前セグメント利益※	13,800	5,168	4,577	23,545	△389	23,156
-----------------	--------	-------	-------	--------	------	--------

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation 買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,083
調整額	△389
四半期連結損益計算書の営業利益	22,694

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
121,870	43,070	31,153	19,878	11,305	3,781	231,058

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,656	7,289	6,147	2,703	1,670	28,467

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	金型部品事業
当第3四半期 連結累計期間償却額	1,009
当第3四半期末残高	—

当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
130,939	44,718	36,670	20,442	12,773	4,174	249,719

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
14,113	7,756	8,210	2,980	3,015	36,076

2. のれんに関する報告セグメント別情報

該当事項はありません。